

地域交通と情報技術

～MaaS・ライドシェア・自動運転と地域交通計画～

(一社) 日本福祉のまちづくり学会
中央大学研究開発機構

自動運転、ライドシェア、MaaS などここ数年公共交通にかつてない大きな転換が迫られている。同時に、地方都市では人口の高齢化（運転できない人の増加）や人口減少（公共交通が益々成り立たなくなる）で地方都市の公共交通は衰退の一途をたどり人々の生活を支えるに十分な公共交通が確保されていない。また都市部では、個別の交通サービスの時代から情報技術により統合したサービス（MaaS）に組み替えることが期待され、地域の交通がヘルシンキのようにどこまで統合できるか我が国ではこれからの重要な課題である。

日本福祉のまちづくり学会では、事業委員会と地域福祉交通委員会のジョイントでフィンランドの通信と交通省、ヘルシンキ市、MaaS Global 社のヒアリングをベースに下記の要領でセミナーを開催いたします。

記

日 時：2018年12月27日（木） 午後1:30～5:00

場 所：大田区産業プラザPIO 6階 D会議室 (<https://www.pio-ota.net/access/>)

京急蒲田駅徒歩3分

<内 容>

1:30 挨拶 日本福祉のまちづくり学会 事業委員会委員長 秋山哲男

第一部 フィンランドのMaaS

1:40～2:30 フィンランド・ヘルシンキ市とMaaS

1. ヘルシンキ市の都市・交通・制度 [p. 1-12] 藤田 光宏（中央大学・客員研究員）
2. ヘルシンキ市のMaaSの取り組み [p. 13-26] 岡本 英晃（交通エコロジー・モビリティ財団）
3. MaaSの利用 [p. 27-33] 小篠 耕平（中央大学・客員研究員）

2:30～2:45 休憩

第二部 日本における地方と都市のMaaSの可能性

2:45～3:15 MaaS・ライドシェアと地方の公共交通 秋山 哲男（中央大学・機構教授）

3:15～3:45 都市部における日本型MaaSの行方 吉田 樹（福島大学・准教授）

3:45～4:15 自動運転とMaaS 森口 将之（(株)モビリティィ）

4:15～4:50 討論

4:50～5:00 閉会の挨拶 日本福祉のまちづくり学会地域福祉交通委員会委員長 吉田 樹

参加費：資料代 会員 2,000 円、非会員 4,000 円

- 参加希望者は、件名を「地域交通と情報技術」とし、参加者全員の名前、所属、メールアドレス、会員・非会員の種別をご記入の上、kobayashi@fukumachi.net（担当：小林）までお申し込みください。
- 情報保障やその他の支援をご希望の方は、12月14日（金）までに支援の内容をお知らせください。
なお、内容によってはご要請にお応えできない場合があることをお含みおき下さい。